

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科矯正学		講義	油谷 征彦	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
歯科衛生業務を行うために必要な不正咬合の症状及び治療法を理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 顔面および歯・歯列の成長発育とその評価を説明できる。 2. 成長に伴う正常咬合を説明できる。 3. 不正咬合の原因と種類を列挙できる。 4. 不正咬合による障害と矯正治療の目的を説明できる。 5. 矯正力と歯の移動時の生体反応を説明できる。 6. 矯正装置の種類、構造および機能を説明できる。 7. 矯正治療に用いる器材とその取り扱いを説明できる。 8. 治療前、治療中、保定期間の口腔健康管理法を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	I編1章 矯正歯科治療の概要			
2	I編2章 成長・発育			
3	I編3章 正常咬合と不正咬合			
4	I編4章 矯正歯科診断			
5	I編5章 矯正歯科治療と“力”-矯正力・顎整形力・保定			
6	I編6章 矯正装置			
7	II編1章 上下顎の前後的関係の不調和			
8	II編2章 上下顎の前後的関係の不調和（過蓋咬合・開咬）			
9	II編3章 成人矯正			
10	II編4章 口腔学顔面の整形異常と変形			
11	II編5章 歯の埋伏と歯数の異常			
12	II編6章7章 矯正歯科治療時のトラブルへの対応・健康保険が適応される矯正歯科治療			
13	III編1章2章 矯正歯科診断にかかわる業務・矯正歯科診療時の業務			
14	III編3章 矯正歯科患者と口腔保険管理			
15	III編4章5章 口腔筋機能療法・器材、資料、文書の管理			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	90%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点	10%			
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				